



平成 21 年 7 月 14 日

各 位

会社名 株式会社船井財産コンサルタンツ
 代表者名 代表取締役社長 蓮見 正純
 (コード番号 8929 東証マザーズ)
 問合せ先 常務取締役 中塚 久雄
 (TEL 03-5321-7020)

第 2 四半期業績修正ならびに配当予想に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、当社は、平成 21 年 7 月 14 日開催の取締役会において、平成 21 年 2 月 10 日の決算発表時に公表いたしました平成 21 年 12 月期第 2 四半期の業績予想を修正するとともに、平成 21 年 12 月期第 2 四半期末配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 12 月期第 2 四半期連結業績予想の修正 (平成 21 年 1 月 1 日 ~ 平成 21 年 6 月 30 日)
 (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	第 2 四半期 純利益
前回発表予想 (A)	4,800	280	15	145
今回修正予想 (B)	2,277	792	1,083	1,575
増減額 (B - A)	2,523	1,072	1,098	1,720
増減率 (%)	52.6	382.9		
(参考) 前期実績 (平成 20 年 12 月期第 2 四半期)	7,998	1,223	840	465

2. 平成 21 年 12 月期第 2 四半期個別業績予想の修正 (平成 21 年 1 月 1 日 ~ 平成 21 年 6 月 30 日)
 (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	第 2 四半期 純利益
前回発表予想 (A)	3,980	250	215	260
今回修正予想 (B)	1,769	815	839	1,410
増減額 (B - A)	2,211	1,065	1,054	1,670
増減率 (%)	55.6	426.0	490.2	642.3
(参考) 前期実績 (平成 20 年 12 月期第 2 四半期)	7,628	1,208	1,132	654

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、業績予想に変更が生じた場合は速やかに開示いたします。

- (ご参考) 平成 21 年 12 月期通期業績予想数値 (平成 21 年 1 月 1 日 ~ 平成 21 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連 結	12,320	670	370	430
単 体	11,030	590	530	350



3. 修正の理由

(第2四半期累計期間連結業績予想の修正)

主として不動産市況の悪化によるものであります。平成21年2月に発表した業績予想(以下、発表業績予想)において徐々に回復するものと見込んでおりました不動産市況が第2四半期後半まで停滞したため、不動産売上高882百万円(発表業績予想比63.7%)、同粗利益額189百万円(評価損計上前、発表業績予想比58.0%)にとどまる見込みです。さらに前事業年度末より適用している「棚卸資産の評価に関する会計基準」に準拠し、当四半期に374百万円の販売用不動産の評価損を計上するに至り、第2四半期累計期間の不動産売上粗利益額は185百万円と発表業績予想を635百万円下回る見込みです。また、不動産市況の停滞は収益性物件への組替え案件の減少を通じて財産コンサルティング事業に影響がおよび、財産コンサルティング収益868百万円(発表業績予想比44.6%減)、粗利益額551百万円(発表業績予想比58.0%減)と発表業績予想を大きく下回る見込みです。

これに加えて発表業績予想に織り込み済みであった退任役員への退職慰労金の特別加算部分、持分法適用関連会社に対する持分法投資損失等の費用がかさみ、営業損失が792百万円、経常損失が1,083百万円となる見込みです。さらに来期以降の市況の見込みが不透明なこと及び修正事業計画を策定中であることから保守的に繰延税金資産603百万円を全額取り崩し、当期損失が1,575百万円と第2四半期累計期間において大幅な赤字を計上する予定となりました。

(第2四半期累計期間個別業績予想の修正)

第2四半期累計期間連結業績の修正理由と同様であります。

4. 今後の事業戦略

上場以来初の第2四半期までの累計期間赤字を計上するに至り、通期経常黒字の達成、安定した収益構造を構築すべく下記のような施策を実施して参ります。

(1) 不動産特定共同事業法に基づく不動産共同所有システム「ADVANTAGE CLUB」(以下、「ADVANTAGE CLUB」)の組成について

当社グループでは提案する財産・財務コンサルティング業務の資産組替え提案として「ADVANTAGE CLUB」を主力商品として提供しており、半期に概ね1~2件のペースで提供して参りましたが、第2四半期での組成を見送りました。第3四半期から第4四半期にて組成していく方針であります。

(2) 資産圧縮による財務体質の改善

当第2四半期累計期間において、販売用不動産をはじめとする保有資産を売却することにより財務効率の改善を図って参りました。販売用不動産は、前期末に12件約59億円ありましたが、不動産市況の停滞が徐々に解消されつつある第2四半期に売却を進め、平成21年6月末には8件約50億円となる見込みであります。さらに本日現在3件約11億円が約定済みであり、残り5物件約39億円についても順次売却を進めて参ります。その他投資等の資産についてもコンサルティング事業との相乗効果が弱いものを中心に売却を進め、財務体質を強化する方針であります。

(3) 組織の構造改革

本日開示した「組織変更及び役員の異動のお知らせ」「希望退職者募集に関するお知らせ」「役員報酬及び従業員給与の減額に関するお知らせ」に記載したとおり収益力の強化と業務効率化のための組織変更と人員配置を行ないます。

5. 平成21年12月期第2四半期末配当について

平成21年12月期の第2四半期末配当につきましては、公表しておりますとおり、1株あたり750円とする予定であります。

業績予想の適切な利用に関する説明、その特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上